

# 博士論文発表会日程一覧

※発表会日程順

論文発表会日時・場所			専攻	発表者氏名	論文テーマ
12月13日	10:00-11:00	大学美術館 3F 展示室3	油画	ホーク・サブリーナ・ヘドイグ	人工のパラダイス
12月13日	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室4	先端芸術表現	三野 新	写真身体論 序説
12月13日	15:00-16:00	大学美術館 B2F 展示室1	油画 (油画技法・材料)	田中 駿	場が規定する絵画様式における対話の課程
12月14日	10:00-11:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	アンジェリッチ・マリヤーナ	交錯するアイデンティティー
12月14日	11:00-12:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	川崎 麻央	閃きと10のフェイズ
12月14日	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	重政 周平	線と間隙の相克
12月14日	13:00-14:00	大学美術館 B2F 展示室1	先端芸術表現	佐藤 悠	「物語構造化」する「日本型アートプロジェクト」に対する態度としての表現の研究 —協話と笑いについて—
12月14日	14:00-15:00	大学美術館 3F 展示室3	油画	富安 由真	心霊表象論—心霊イメージの変遷から読み解く「不気味な」表現の可能性—
12月14日	15:00-16:00	大学美術館 3F 展示室3	日本画	松村 侑紀	「標識色」と「隠蔽色」蠢惑と警戒のテリトリー
12月15日	10:00-11:00	大学美術館 3F 展示室3	油画(版画)	柯 毓珊	未来の機械世界の合成と分化
12月15日	12:00-13:00	大学美術館 B2F 展示室2	工芸(漆芸)	チエウ・カイン・ティエン	「ベトナムの漆芸と日本の漆芸」 技術と表現の比較を通して展開する未来
12月15日	13:00-14:00	大学美術館 B2F 展示室1	先端芸術表現	朴 娜炫	ヴァーチャルペルソナを通じた変身願望の表現研究
12月19日	10:00-11:00	大学美術館 3F 展示室3	油画 (油画技法・材料)	岡本 瑛里	巫の芸術—霊力の顕現
12月19日	13:00-14:00	大学美術館 B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	鷹濱 春奈	縮図からの想定復元研究-天瑞寺室中旧障壁画「松図」の想定復元制作を通して—
12月19日	13:00-14:00	大学美術館 3F 展示室3	油画 (油画技法・材料)	伊勢 周平	「絵画においてイマージュとは何か—バジュールの物質的想像力からみる絵画」
12月19日	13:00-14:00	大学美術館 2F バルコニー	工芸(陶芸)	コリー・マーガレット・アーレン	陶磁器と文化的アイデンティティー:現代アメリカ陶芸のための日中伝統陶芸の応用の可能性
12月19日	14:00-15:00	大学美術館 2F バルコニー	工芸(陶芸)	鍾 雯婷	「恋果物語」—台湾の色と模様による彩磁の器
12月19日	14:00-15:00	大学美術館 B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	松原 亜実	南宋仏画の光耀表現に関する研究 —永保寺蔵 重要文化財「千手観音像」の想定復元模写を通して—
12月19日	14:00-15:00	大学美術館 B2F 展示室2	工芸(彫金)	崔 壽現	仏教儀式・散華からみたジュエリーの造形研究
12月19日	15:00-16:00	大学美術館 3F 展示室3	油画 (油画技法・材料)	吉田 晋之介	Days - 持続変化と不変項
12月19日	15:00-16:00	中央棟 第3講義室	芸術学(西洋美術史)	川合 真木子	アルテミジア・ジェンティレスキのナポリ時代:後期画業の展開とその特質
12月19日	15:00-16:00	大学美術館 B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・日本画)	向井 大祐	肉筆浮世絵の研究 —MOA美術館蔵 重要文化財「婦女風俗十二月月図」勝川春筆の想定復元模写を通して—
12月20日	13:00-14:00	中央棟 第2講義室	文化財保存学 (保存科学)	古田嶋 智子	展示ケースに用いる合板からの酢酸放散に関する研究
12月20日	14:00-15:00	大学美術館 B2F 展示室1	油画	ハッジス・ラバルカ・アキレス・ライムンド	未知なるものとの対話の枠組としてのアート
12月20日	18:30-19:30	中央棟 第3講義室	芸術学(西洋美術史)	安藤 さやか	《コルビー詩編》のイニシアル—カロリング朝期写本画に於ける図像と装飾の研究—
12月21日	10:00-11:00	大学美術館 2F バルコニー	彫刻	北山 翔一	彫刻の抵抗感 内的触覚によって切り出された風景
12月21日	11:00-12:00	中央棟 第5講義室	文化財保存学 (保存科学)	村上 夏希	イスラム陶器の材質技法に関する保存科学的研究 —エジプト・アル＝フスタート遺跡出土陶器片を事例に—
12月21日	12:00-13:00	大学美術館 3F 展示室3	油画	久保田 沙耶	芸術における認知行動をめぐる物質文化の解釈的研究
12月21日	15:00-16:00	大学美術館 B2F 展示室2	文化財保存学 (保存修復・彫刻)	小野 貴登司	近世建築彫物と下絵の相関性についての研究 —諏訪立川流の建築彫物—
12月22日	10:00-11:00	中央棟 第3講義室	芸術学(美学)	山口 遥子	天才の連想 —18世紀独英美学における観念連合論—
12月22日	11:00-12:00	大学美術館 3F 展示室3	工芸(鍍金)	金 柄文	記憶の痕跡
12月22日	15:00-16:00	大学美術館 3F 展示室4	油画	高田 冬彦	憧れる身体
12月22日	15:00-16:00	大学美術館 B2F 展示室1	油画(壁画)	大江 晃世	「限界性」の芸術—内的価値、贈与、時間にむすびつけて—
12月22日	18:00-19:00	中央棟 第3講義室	芸術学(西洋美術史)	長友 瑞絵	『フィシオログス』写本挿絵の研究 —挿絵サイクルの伝播をめぐって—